

消費者物価指数

—しくみと見方—

消費者物価指数とは何か

(シリーズ I)

◇価格と物価

私たちは、毎日生活していく上で、さまざまな品物を買ったり、サービス料金を支払ったりしています。これらの商品やサービスはそれぞれ値段があります。例えば、牛肉一〇〇g三四〇円、鶏卵一〇〇g三八円、キャベツ一kg二一〇円、ワイシャツ一枚三〇〇〇円、ノート一冊一〇〇円、バス代一回一四〇円などです。このような一つ一つの商品やサービスの値

段を価格といっています。

一つ一つの価格は、上がったりが下がりたりまちまちの動きをします。あるいは値上がりし、あるいは値下がりしたりします。したがって、価格全体の動きをみようとする場合には、商品やサービスの価格を総合した平均的な水準を測定することが必要となつてきます。この平均的な水準を物価あるいは物価水準と呼んでいます。

◇物価指数

このように、物価はたくさんの商品やサービスの価格を総合したものですから、物価そのものを何円というような形で表すことはできません。そこで、基準となる時点を決め、この時点の物価水準と比較しようとする時点の物価水準とを比べ、比率で示したものが物価指数です。基準となる時点の物価水準を一〇〇とした場合、現在の物価水準が二倍になっていれば二〇〇として表現されるわけですから、このような物価指数の代表的なものとしては、消費者物価指数と卸売物価指数があります。

昭和五十七年度

成人式

八月十五日に挙行

昭和五十七年度の成人式を、八月十五日午前十時より改善センターで開催致します。

◇昭和五十七年度成人式対象者

ご存知のようにこの成人式は、今年度より衣替えして夏に行なうもので、学年齢により「ふるさとに里帰りをした者と一緒に大人への門出を祝おう」ということと、「成人式は平服で行なおう」という二つの主旨から改善されたものです。

○昭和三十七年一月一日から昭和三十八年四月一日までに出生した者で、日置町に住民票のある者

○就職・就学のため住民票を転出している者については、本人から届出があった者。

◇消費者物価指数



商品の価格には、流通過程に応じて、生産者価格、卸売価格、小売価格があります。卸売物価指数は卸売段階の物価変動を示すものです。これに対して、消費者物価指数は、消費者が購入する商品の小売価格やサービスの料金を総合した物価の変動を時系列的にとらえるものです。言い換えれば、私たちの家庭が日常生活で購入する食品、衣料品、電気製品などの商品や、授業料、家賃、バス代、ヘアカット代などのサービス料金の価格の動きを全体としてまとめ示すものです。

歳時記

怪談

ばなし

草木も眠る丑三つ時、雨のそぼ降る柳の蔭に、足元のおぼろげな人の姿がスーッと現れて、といった調子の怪談は、夏、特別にお盆がシーズン。ぞくぞくとする気分が涼しさを味わおうというわけですが、どうも現代っ子にはピンとこないようです。

劇画や映画でどぎついシーンに慣れているせいもあり、また最近では、家の構造も変わって、夜中に家の外の暗いトイレに行くこともなくなつたせいでしょう。

怪談は、昔から説話文学などの形で伝えられてきましたが、講談や芝居で怪談が盛んになったのは江戸時代になってから。乾坤坊良斎が自作自演した「四谷怪談」、三遊亭円朝の「牡丹灯籠」などが特に知られています。

また、江戸時代には町人たちの間で、夏の夕方、怪談の上手な人が話して聞かせ、度胸試しをするなどの楽しみもあつたようです。

最近ではクーラーの普及で、涼味を怪談に求める必要がなくな

ったというせいでしょうか、お化けの出る話はまだ聞きませぬ。

でも、今様怪談で、道路に幽霊が出る話を耳にすることがあります。調べてみると確かにそこが交通事故のあつたところだったりします。そして、夜になると、道路の照明や周囲の明かりの具合などで、奇怪な像(ゴースト)となつて見える—ということもあるようです。そのために、ドライバーが錯覚を起こしてハンドル操作を誤り、事故の原因になる—

このような道路は、怪談咄と一笑に付きないうで、点検した方がよさそうですね。

